



鈴木ゆうじ 議会報告

事務所 八王子市大楽寺町 412 番地 Tel 655-2802 Fax 655-2803
E-mail : yuji-net@wj8.so-net.ne.jp

金網の向こうで何が起きているのでしょうか？



米陸軍特殊部隊の降下訓練 (8月22日)「横田基地」

日本共産党市議団が提案したオスプレイの横田基地配備反対の意見書が9月18日賛成多数で可決されました。反対をしたのは自民党会派と無所属議員の1名、民主党籍のある3名は退席しました。

7月30日、米太平洋空軍司令官のオスプレイの横田配備を検討しているとの発言が報道されました。横田基地の騒音公害に「静かな夜を返せ」と求めて訴訟をしている八王子住民が市議会各会派に要請をしたのを受け、党市議団が提案したものです。

沖縄へ配備されたオスプレイはMV22、事故が多く日本の航空法で義務付けられた安全装置を備えていない欠陥機です。横田へ配備されるものは陸軍の特殊部隊の作戦に使用されるものでCV22。陸軍の特殊作戦に使用されることから激しい訓練がされ事故率はMVの6倍以上です。オスプレイは住宅密集地上空での訓練はアメリカでは禁止されています。

八王子市議会で意見書が可決され三多摩では13議会となります。基地周辺5市1町や近隣3自治体も配備反対の声明を出していますが、八王子市長は党市議団の求めに対し、市長会を通じて行うとして、市独自の表明はしていません。市長会は10月9日に配備撤回の要請書を都知事あてに提出しています。

オスプレイの横田基地配備反対

八王子市議会 意見書可決

中核市への申し出 全会一致で可決

市長提出議案の「中核市の申し出」が全会派一致で可決されました。これで平成27年4月からの移行を目指すこととなります。中核市移行により東京都から1153項目の事務権限が移譲されます。

市はきめ細かなサービスの提供、行政の効率化、スピードアップが図られ、市民サービスの向上につながると思っています。権限が移譲されると同時に財源がどうなるかが問われてきました。都からの事務移譲により都からの補助金が減りますが、中核市になることにより地方交付税が37億円増額される分では吸収できる水準まで都と交渉してきました。党市議団は、サービスの後退は許されないことを確認し、自治権の拡充を活かし条例の設置などにも市民の声をより反映させることを求め賛成しました。

二元代表制の責任果たす議会へ 議会基本条例を制定



市民と議会の意見交換会

市民の願いを実現できる議会、市政の間違いを質せる議会、市民に分かりやすい議会など二元代表制の責任を果たす議会へ改革をめざし議会基本条例を全会一致で制定しました。特別委員会を立ち上げ4年間にわたり議員間で討議し、市民から意見を聞く会やパブリックコメントなどを行い今議会に提案したものです。議会の役割を自覚し、その役割を果たすため引き続き改革を行うことも確認されています。議会改革の推進機関として議会運営委員会が担当し、質疑の方法、議会報告会の実施方法など決定することになりました。

決算の審議から 国保保険料の値上げは必要なかった

27億8千万円の値上げ—国保税で13億円、後期高齢者医療で4億8千万円、介護で10億円

平成24年度は上記のように約28億円もの値上げが行われ、私どもは当初予算に反対しました。国民健康保険税では、一般会計から15億5千万円もの繰り入れが削減され、値上げが必要なかったことが明らかとなりました。市長は基金を32億円ふやし、過去最高となる基金残高(179億円)を確保したと自慢していますが、市民への負担増で基金が増えたではありません。

親子方式の中学校給食、利用率80%超す

24年度に準備し、25年度から試行された川口中学校での親子方式による中学校給食。1学期の終わりの7月で利用率は1年生82.5%、2年生83.9%、3年生52.3%で、1、2年生は80%を超えていることが明らかとなりました。一方、現行のデリバリー方式では平均20%を下回り、親子方式の拡大を強く求めました。

川町スポーツパーク計画地

「急傾斜地の崩落」「土石流」発生危険地域

土砂災害警戒区域に都が指定

川町グリーンタウン高尾住宅の南側の谷戸約15haに55万㎡の残土を38メートル積み上げ埋めて、サッカー場などをつくる計画をNPO法人東京スポーツビジョン21が公表。ところが、この計画地は、東京都が作成した山地災害危険地区マップにも示された災害発生危険区域。平成23年に改正された土砂災害防止法に基づき、改めて「急傾斜地の崩落」「土石流」の発生危険地域として二重の土砂災害警戒区域に指定されることが明らかとなりました。

残土が多量に持ち込まれることによって、土砂災害が心配されることから計画に反対している住民は、こうしたところに残土を持ち込めば危険はさらに大きくなるかと心配の声をあげています。

今年だけでも1時間に100ミリを超える豪雨が多数発生しています。60ミリ対応の工事で積み上げられた残土の上に豪雨があれば大変



「土砂災害警戒区域の指定の公示に係る図書」より

スポーツパーク建設反対の請願審議

事業責任法人の代表 小泉氏 「資金の管理は行っていない」

8月21日、都市環境委員会で、建設反対と推進を求める2つの請願が審議されました。委員会の委員構成が変わったことから請願代表者が改めてその趣旨を説明。

NPO法人東京スポーツビジョン21の代表小泉氏に対する質問で、法人の実態について尋ねると、構成員は9名であること、また資産も40万円程度しかないことが確認されていますが、決算書類からこ

な土砂災害を引き起こす危険があります。川町地区では2008年8月のゲリラ豪雨により、斜面に積み上げられた建設残土の流出で住宅倒壊の災害が発生しています。近隣住民は二度とこんな災害は起きてほしくないと願っています。

住民の安全を考えれば東京都や八王子市はこの谷戸への残土持ち込みは許すべきではないでしょう。

の計画に対するお金の支出が全くないことを質すと、当法人は資金についてはまったく関知せず管理は行っていないと明言。この事業の実態が残土処理で利益を得ようとする企業の目論見であり、そこで作られた計画や資金で進められていることがはっきりしました。

この事実、事業者である法人がこの計画の責任を負える団体でないことを示すものであり、重大です。

大島土砂災害への 救援募金活動を開始



台風26号により24時間降り続いた824ミリという記録的な豪雨に見舞われた大島。16日未明、三原山の中腹から表層崩壊を起こした土砂流が住宅を襲い、多くの犠牲者を出しました。大島出身の私は19日笠井亮衆議院議員、吉良よし子参議院議員。清水ひで子都議らの被害調査団に同行しました。

自然の脅威に襲われた島民は、将来への不安を募らせていました。町議会では今は何よりも全員が力を合わせこの難局を乗り切ることが必要だという意見が出され、災害に立ち向かっているということでした。町役場は避難所、そして島外からの消防隊、報道陣の活動拠点。避難指示がいつ出されるかと緊張感を高めていました。避難をしている島民は、「職員が要望をよく聞いてくれ助かります。頑張ってください」と語っておられました。

八王子市議会は、全議員で構成する「八王子市議会議員団」が義援金を40万円送金しました。また市でも、大島で島外ボランティアの受け入れが開始されれば、本市からのボランティアに一人当たり15,000円を支援することを決定しました。

党八王子地区委員会も救援募金を始めています。ご協力お願いします。



24時間で824ミリ、100ミリ以上の豪雨3〜4時間